

利用報告書作成依頼

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション
厚岸臨海実験所及び室蘭臨海実験所共同利用協議会委員長
本村泰三

各位

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション室蘭・厚岸臨海実験所にて共同利用実習をしていただいた皆様には次項以降の臨海実験所利用報告書の作成をお願いしております。活動終了後に必要事項をご記入の上、各実験所の担当教員にご提出下さい。報告項目にある 2. 「活動のスケジュールおよび参加人数」の欄は各活動日（一日目、二日目などと記載）の活動項目と参加人数を簡条書きでご記入いただけますようお願いいたします。また、もしできましたら、活動の様子の項に活動中の写真数枚をご貼付の上、各写真に対応する説明文を記していただければ幸いです。なお、当ステーションでは利用の実態・概要を一般の方々にも広く周知するためにホームページ等において、承諾をいただいた方の報告書を公開しております。以下の報告内容について公開をご希望されない場合は担当教員までお知らせ下さい。

問い合わせ先
北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 水圏ステーション
厚岸臨海実験所
頼末武史
Tel: 0153-52-2056
Email: yorisue@fsc.hokudai.ac.jp

室蘭臨海実験所
田中厚子
Tel: 0143-22-2846
Email: tanaka@fsc.hokudai.ac.jp

申請書 様式

2016年 8月 18日

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション
(室蘭・厚岸)臨海実験所利用報告書(共同利用実習)

以下の活動内容について報告します。

受付番号:

活動(実習)名: 上智大学フィールド型環境ゼミナール Human Ecology: Rivers

活動期間: 8月7日 1日間

1. 活動内容の概要

厚岸湖の水性生物観察(胴長を着用しての徒歩での観察、観察船を利用しての生物採集)
実験所にて講義、解剖実験

2. 活動のスケジュールおよび参加人数

9時-10:30 生物調査 チカラコタン

11時-12:30 生物調査 解剖実験

12:30-1:30 ランチ

1:30-4:00 講義

4:00-4:50 愛冠岬と博物館見学

上智大学 学生1年~3年生 13名 (うち交換留学生6名を含む)

教員 2名 補助教員 1名 合計 16名

3. ご感想・ご要望

厚岸湖の汽水域に生息するアマモとそれに寄生する微生物や魚などを北海道大学のボートを使って学生たちが採取し、解剖することにより、自然界の密接な食物連鎖の様子が大変よく分かり、汽水域の生態系を効果的に学習することができました。

中には環境保全、動植物保護をうたいながら解剖をして殺すことに異議を唱える学生や、人と自然のより良い共存をを行うためには、どうしてもその生物がどのような生態系を持っているのか調査のための捕獲、解剖などの実験調査は必須であるのではないかなどという意見を持つ学生とが互い議論することもでき、とても有益な考えさせる授業が出来たと思います。

ご多忙のなか、ご対応いただいた仲岡先生をはじめ皆様には本当に感謝致しております。ありがとうございました。

氏名: 伊藤 毅

所属: 上智大学

職名: 准教授

活動の様子

